



環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ  
<https://eslontimes.com>専用の管理ページでさらに便利に!  
あなただけのエスロンタイムズ  
**MYエスロン**\*色調は実物とは異なる場合があります。  
\*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

1997年 9月 初 版  
2025年12月 改訂26版-0刷  
エスロン接着剤  
カタログ  
積水化学工業株式会社  
給排水インフラ事業部ツールコード  
No. 05143  
2025.12. OTH TX

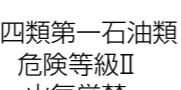
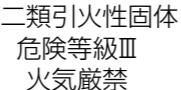
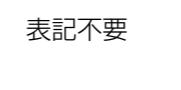
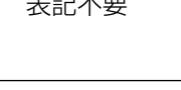
# エスロン<sup>®</sup>パイプ〈硬質ポリ塩化ビニル管〉接合用 エスロン<sup>®</sup>接着剤 滑剤・接合剤



## CONTENTS

安全上のご注意	P.2
接着剤	P.3-5
滑剤(ゴム輪接続用)	P.6
接合剤(下水道用)	P.6
接着剤による接合手順	P.7-8
接着接合の注意点	P.9
滑剤によるゴム輪受口の接合手順	P.10
ドレンタイトによる接合手順	P.11
エスロンBVによる接合手順	P.11
製品安全データシート(SDS)	P.12-14
日本水道協会の接着剤適合基準について	P.14

※容器の表示について  
接着剤は危険物(第四類第一石油類)に該当します。各製品容器には取扱い上の注意、接合時の注意等が表記されておりますので、ご使用前に必ずお読みください。

GHS表記内容	消防法による表記	対象製品		
 引火性液体 及び蒸気	 急性毒性/ 皮膚刺激性等	 発がん性/ 生殖毒性等	第四類第一石油類 危険等級II 火気厳禁	No.20S No.20Sホワイト No.65S No.70S No.73S No.73Sブルー No.73S UV No.73S/バイオレット No.75S No.75SブルーN No.80S No.83Sホワイト No.100S No.100Sグリーン エスロタイトプライマー
 可燃性固体	 急性毒性	第二類引火性固体 危険等級III 火気厳禁	エスロンBV	
 可燃性固体	 急性毒性	 発がん性/ 生殖毒性等	第二類引火性固体 危険等級III 火気厳禁	マスタイト
 皮膚腐食性/ 刺激性等	 特定標的臓器/ 全身毒性等	 水生環境 有害性	表記不要	ドレンタイト主剤(A剤) リブタイト主剤(A剤) エスロタイト主剤(A剤)
 眼に対する重篤 な損傷等	表記不要	ドレンタイト硬化剤(B剤)		
 皮膚腐食性/ 刺激性等	 特定標的臓器/ 全身毒性等	 眼に対する重篤 な損傷等	表記不要	リブタイト硬化剤(B剤)
 眼に対する重篤 な損傷等	表記不要	エスロタイト硬化剤(B剤)		
表記不要	表記不要	滑剤類		

## 安全上のご注意

安全かつ適切に使用していただくために、必ずお守りいただくことを説明しています。  
施工に当たっては、各々の管・継手の「施工ハンドブック」等を参考の上、理解して使用してください。表示と意味は以下の通りです。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う危険性が想定される内容が記載されています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために下記事項をお読みになり、よく理解した上でご使用ください。



### ●保管は法令に従って

接着剤は消防法の危険物に該当します。保管にあたっては、法令及び市町村条例を守ってください。また、使用後は火気を避けて冷暗所に保管してください。

### ●使用は法令に従って

エスロン接着剤は、厚生労働省の有機溶剤中毒予防規則において「第二種溶剤等」に該当します。屋内で、接着剤の1時間当たりの使用量が、以下の許容使用量を超える場合には、「有機溶剤中毒予防規則」が適用され、「有機溶剤取り扱い作業主任」の資格が必要となります。詳細は所轄の労働安全基準監督署にご確認ください。  
接着剤許容使用量W(g/時間)=0.4(g/m<sup>3</sup>・時間)×部屋の容積(m<sup>3</sup>)(部屋の容積は、床から高さ4m以下の部分とし、150m<sup>3</sup>を超える場合は、150m<sup>3</sup>で計算する。)  
尚、接着剤の1時間あたりの使用量は、実際に使用する接着剤の量に0.6を乗じた数値です。

### ●換気・火気に注意

有機系溶剤による中毒と火災を防止するため、作業現場では換気に注意し、火気を避けてください。

### ●目に入ったら

誤って目に入った場合は、こすったりしないで速やかに医者の診断を受けてください。

### ●手洗いとうがい

使用後は、手洗いとうがいを充分に行ってください。

### ●手袋の着用を

かぶれ、ただれを防ぐために手袋を着用し、直接皮膚に触れないよう注意してください。万一皮膚に触れた場合は、速やかに石けんと水でよく洗い落としてください。

漏水・接続不良等の事故を防ぐため必ずお守りください。



### ●使用前の確認

使用前には有機系溶剤の揮発・乾燥による接着剤の粘度上昇やゼリー状への変質等の異常がないことを確認してください。No.20S/No.20Sホワイトの有機系溶剤成分は揮発・乾燥しやすくなっていますので特に注意してください。

### ●No.20S/No.20Sホワイトの使用条件

施工作業場の雰囲気温度5~40°Cで呼び径13~75AのVP-HIVPIをご使用いただけます。

### ●他用途への流用は禁止

エスロンパイプ・継手の接着には専用のエスロン接着剤をご使用ください。他の用途に流用しないでください。

### ●古いもの、異物混入したものは使わない

土砂・水の混入したものや、古くなって固まりかけた接着剤をシンナーなどでうすめて使用しないでください。接着効果が低下し、抜けの原因となります。

### ●初期のたまり水は捨ててください

エスロン接着剤には有機系溶剤が含まれています。施工において、接着剤の塗布が多いとき、また施工後乾燥が十分でない内に水を流すと水が臭う場合があります。初期のたまり水は捨ててください。

### ●混合しないでください

異種の接着剤同士、または古い接着剤と新しい接着剤を混合しないでください。接着効果が低下し、抜けの原因となります。

### ●ゴム輪接合には専用の滑剤を

ゴム輪接合にあたっては、所定の専用滑剤を使用してください。接着剤や油、グリスはゴム輪を傷める恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

### ●二液型接合剤は正しく混合

二液型の樹脂系接合剤を使用する場合は接着効果を発揮させるため、取扱い説明書に従って必ず二液を所定の割合で混合してください。

### ●面取り

接合する前には必ず管端の面取りを行い、必ず標線を記入してください。

### ●塗布面の清掃

接合面の油・水気・ほこりをふきとつから、継手、パイプの順に接着剤ができるだけ均一に塗布してください。

### ●塗布後速やかに挿入

接着剤塗布後、素早く管を継手に挿入し、抜け出なくなるまで押さえてください。

### ●色写り注意

青色および緑色接着剤は床などにこぼした上に床材を敷設すると、色が浸透する場合があります。こぼれた接着剤は拭き取ってください。

### ●再挿入の禁止

接着剤を塗布し一度挿入して抜け戻った管・継手は、接着剤の再塗布の有無にかかわらず、再挿入して使用しないでください。接着効果が低下し、抜け漏水の原因になります。

# 接着剤

# 塩ビ管用接着剤

接着剤名称	特長		対象呼び径			用途								
	色調	粘度 (参考値)	13 50	150 300	600	VP	HI	HT	UVS	VU-VP-VM	VU-VP	耐火VP	RF-VP-RS-VU	ACドレン
No.65S	透明	500 mPa·s				○					○			
No.70S	透明	2,500 mPa·s				○					○	○		
No.73S	透明	500 mPa·s				○					○	○	○	○
No.75S	透明	150 mPa·s				○					○	○	○	○
No.73S ブルー	青色	500 mPa·s									○	○	○	○
No.75S ブルーN	青色	150 mPa·s									○	○	○	○
No.73S UV	ラクライト 発光	500 mPa·s									○	○	○	○
No.73S バイオレット	紫色	500 mPa·s									○	○	○	○
No.20S	透明	380 mPa·s				○	○				○	○		
No.20S ホワイト	白色	380 mPa·s				○	○				○	○		
No.80S	透明	500 mPa·s				○	○					○		
No.83S ホワイト	白色	500 mPa·s				○	○					○		
No.100S	透明	500 mPa·s									○	○		
No.100S グリーン	緑色	500 mPa·s									○	(排水専用)		

※対象呼び径は目安であり、温度条件や作業時間によって異なります。

※用途区分では、推奨品に○、使用可能品に○を記載しています。

※透明品と着色品は着色剤以外の配合組成は同じであり、接着強度は同等です。

※接着剤について「日本水道協会規格準拠」と記載されているものは、「日本水道協会規格JWWA S 101 水道用硬質塩化ビニル管の接着剤」に規定される材料・製造方法・組成とし、品質について自社にて試験を行い、規格に適合することを確認したものです。

## 接着剤塗布量

呼び径	13	16	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200	250	300	350	400	450	500	600
塗布量 (g)	0.7	1.0	1.5	2.0	2.5	3.5	5.0	6.5	10	15	20	30	55	90	125	175	220	275	350	500

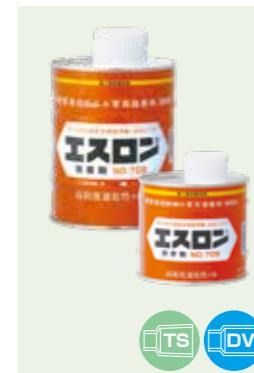


No.65S

### 塩ビ管用接着剤

▲注意 大口径管に塗布する場合、別途、塗布用のハケ(市販品)をご用意ください。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
1kg S651 24 筆付



No.70S

### 塩ビ管用接着剤

JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
高粘度速乾性=B  
粘度: 2500mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S705G 40 筆付  
1kg S701 24 筆付  
15kg S70-15 1 受注生産品



No.73S

### 塩ビ管用接着剤

JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S735G 40 筆付  
1kg S731 24 筆付  
15kg S73-15 1 受注生産品



No.75S

### 塩ビ管用接着剤

▲注意 乾きやすいため、夏季や大口径管の接続はお避けください。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 150mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S755G 40 筆付  
1kg S751 24 筆付  
15kg S75-15 1 受注生産品



No.20S

### 塩ビ管用短時間養生型接着剤

▲注意 施工作業場の雰囲気温度5~40℃で呼び径13~75AのVP-HIVPにご使用ください。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 380mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S205G 40 筆付



No.20Sホワイト

### 塩ビ管用短時間養生型接着剤

▲注意 施工作業場の雰囲気温度5~40℃で呼び径13~75AのVP-HIVPにご使用ください。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 380mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S205GW 40 筆付



No.80S

### 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIパイプ・ゴールド+(プラス))用

▲注意 HIパイプ・ゴールド+(プラス)には必ずNo.80S、No.83Sホワイトを使用してください。  
※HI管・継手と一般の塩ビ管の接着にもご使用いただけます。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S805G 40 筆付  
1kg S801 24 筆付



No.83Sホワイト

### 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIパイプ・ゴールド+(プラス))用

▲注意 HI継手透明ブルーにはNo.83Sホワイトを使用してください。  
※HI管・継手と一般の塩ビ管の接着にもご使用いただけます。  
JIC 日本水道協会規格準拠 JWWA S 101  
低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量 品番 梱包数 備考  
500g S835G 40 筆付  
1kg S831 24 筆付

## 塩ビ管用接着剤

※接着剤について「日本水道協会規格準拠」と記載されているものは、「日本水道協会規格JWWA S 101 水道用硬質塩化ビニル管の接着剤」に規定される材料・製造方法・組成とし、品質について自社にて試験を行い、規格に適合することを確認したものです。



### No.73Sブルー

排水・通気空調設備管、ケーブル保護管用

▲注意・エスロン透明DV接手・透明DV-VU接手には着色接着剤(ブルー、UV、バイオレット)を使用してください。  
・水道用途には使用しないでください。

低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
500g	S735GB	40	筆付
1kg	S731B	24	筆付

### No.75SブルーN(低粘度)

排水・通気空調設備管、ケーブル保護管用

▲注意・エスロン透明DV接手・透明DV-VU接手には着色接着剤(ブルー、UV、バイオレット)を使用してください。  
・水道用途には使用しないでください。

低粘度速乾性=A  
粘度: 150mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
500g	S755GB	40	筆付
1kg	S751B	24	筆付

### No.73S UV

排水・通気空調設備管、ケーブル保護管用

▲注意・エスロン透明DV接手・透明DV-VU接手には着色接着剤(ブルー、UV、バイオレット)を使用してください。  
・水道用途には使用しないでください。  
・ブラックライトの種類、周囲の明るさの違いで発光度合いに差があることがあります。  
・当社継手製品以外に使用した場合は施工確認がしにくくなります。

低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
500g	S735UV	40	筆付

### No.73Sバイオレット

排水・通気空調設備管、ケーブル保護管用

▲注意・エスロン透明DV接手・透明DV-VU接手には着色接着剤(ブルー、UV、バイオレット)を使用してください。  
・水道用途には使用しないでください。

低粘度速乾性=A  
粘度: 500mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
500g	S735GV	40	筆付

### No.100S

耐熱性硬質ポリ塩化ビニル(HTパイプ)、高耐候性硬質ポリ塩化ビニル管(UVストロング)用

▲注意 HTパイプ・継手、UVストロングには必ずNo.100Sを使用してください。

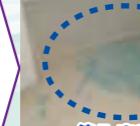
低粘度速乾性  
粘度: 500mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
250g	S1H2G	80	筆付

エスロン 硬質塩化ビニル管用着色接着剤

## No.73Sバイオレット

施工現場でこぼれた接着剤の上から軟質塩ビシートを敷設すると…



当社従来品の場合  
軟ビシート表面に接着剤に含まれる着色成分が染み出る  
お客様にて多額の改修費用が発生

開発品:  
No.73Sバイオレットの場合  
軟質塩ビシート表面へ染み出さず  
施工後も安心!

接着剤の基本性能は従来品と同等に

軟質塩ビシート表面への染み出しを解決!

業界初!



### No.100Sグリーン

### No.100Sグリーン

耐熱性硬質ポリ塩化ビニル(HTパイプ)用(排水専用)

▲注意 エスロンHTDV継手・透明HTDV継手とHTパイプの接続用途以外には使用しないでください。

低粘度速乾性  
粘度: 500mPa·s

容量	品番	梱包数	備考
500g	S1H5GG	40	筆付

(一社)日本インテリア協会プラスチック床材部会推奨・床材汚染対策用接着剤

## 滑剤(ゴム輪接続用)



### ベルソープ

上下水道・農水・電力通信用

▲注意 塩ビ差込ソケット(ES)、伸縮継手(NJK)には、エスロン滑剤No.1をご使用ください。

容量	品番	梱包数
1kg	BSP1	4
1kg(ハケ付)	BSP1H	4
2kg	BSP2	2



### No.1

排水用(塩ビ差込ソケット[ES]、伸縮継手[NJK]等、エスロンRCP用)

▲注意 水道法に定める水質衛生基準により、飲料用配管には使用しないでください。

容量	品番	梱包数
1kg	KZ11	10
2kg	KZ12	6

## 接合剤(下水道用)

### ドレンタイト

塩ビ製支管とコンクリート管・陶製管接合用



容量	品番	梱包数	使用温度範囲(℃)	備考
No.503(一般用)	2kgセット N503-02	6	15~40	A剤・B剤各1kg
	10kgセット N503-10	1	15~40	A剤・B剤各5kg

容量	品番	梱包数	使用温度範囲(℃)	備考
No.502(冬用)	2kgセット N502-02	6	0~15	A剤・B剤各1kg
	10kgセット N502-10	1	0~15	A剤・B剤各5kg

容量	品番	梱包数	使用温度範囲(℃)	備考
150、200	500~700g/力所			
250、300	700~900g/力所			
350、450	900~1200g/力所			

容量	品番	梱包数	使用温度範囲(℃)	備考
10kgセット(各5kg)	RIBT10I	1セット	20以下	主剤・硬化剤各5kg
	RIBT2I	4セット		主剤・硬化剤各1kg
10kgセット	RIBT10N	1セット	15~35	主剤・硬化剤各5kg
	RIBT2N	4セット		主剤・硬化剤各1kg



### マスタイト

カイショマス用シール剤



容量	品番	梱包数	備考
マスタイト200g	MSTT2G	50	チューブ入
シールテープ50mm×15m	MST	30	t=0.55mm



### エスロンBV

塩ビ管用支管接合剤

容量	品番	梱包数	備考
200g	ESTABV	20	チューブ入

# 接着剤による接合手順

## 接着接合

### TS継手・HI-TS継手の接合方法



#### 管の切断

切断箇所は正しく寸法を出し、油性ペン等で管軸に直角に切断線を記入し塩ビ用ノコギリや電動丸ノコを用いて切断します。

▲注意 管が変形したものやすり傷のついたものは切り除いてください。  
▲注意 ケガのないように電動工具の取り扱いには十分注意してください。



#### 管差口の面取り

管差口は、やすりなどを用いて内外面全周にわたり糸面取りをおこないます。特に管を切断した場合は、バリやカエリのないよう管端面もきれいに仕上げることを心がけてください。

▲注意 面が取れていないと、接続時受口部の接着剤を削りとってしまい、抜けの原因となるので、必ず糸面取りをしてください。



#### 挿入標線の記入

継手受口に管差口を軽く挿入して、管が止まる位置(ゼロポイント)が受口長さ(ℓ)の1/3～2/3の間にあることを確認した後、呼び径40以下は差口の管端から受口長さの位置に挿入標線を記入し、呼び径50以上の場合は、ゼロポイントに受口長さの1/3の長さを加えた位置に挿入標線を記入してください。

※ゼロポイントが範囲外の場合は、接合する管と継手の組み合わせを変更してください。

呼び径	13	16	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200
ℓ	26	30	35	40	44	55	63	61	64	84	104	132	200
ℓ×1/3	—	—	—	—	—	—	21	20	21	28	35	44	67



#### 受口・差口の清浄処理

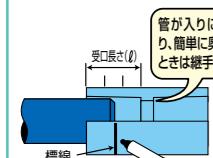
継手受口内部や管差口に付着した砂、土、水分等は乾いたウエスできれいに拭き取ってください。

※接合部に油などが付着している場合は、工業用アルコールを少量用いて清浄してください。

### エスロンHI継手透明ブルーの接合方法 (品揃え 呼び径13~50)

HI継手透明ブルーは接着剤の塗布状況、管の挿入状況等が確認できる新開発の継手です。管の切断、管差口の面取りまでは上記と同様の方法で行ってください。

#### 1 ゼロポイントの記入



●接着剤をつけて管を挿入します。  
●管が止まる位置(ゼロポイント)が受口長さの1/3～2/3の間にあることを確認し、継手外面にマークします。

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

#### 2 清浄処理



●乾いたウエスで水、土、ほこりをふき取ります。  
※特に接合部に油等が付着している場合は、工業用アルコールを少量用いて清浄してください。

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

#### 3 挿入固定治具の取付け



●管と継手に固定治具を取付けます。  
※作業条件がよければ挿入機を用い手で挿入可能です。

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

#### 4 接着剤の塗布



●特に接合部に油等が付着している場合は、工業用アルコールを少量用いて清浄してください。

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

#### 5 管の挿入



●必ず奥まで挿入してください。  
●管内面は薄く、下側特に注意

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

#### 6 保持・養生



●荷重をかけたまま保持します。  
●はみだした接着剤はウエスなどで拭き取ってください。

呼び径	13	16	20	25
受口長さ(ℓ)	26.0	30.0	35.0	40.0
ℓ×1/3	—	—	—	—

30	40	50
44.0	55.0	63.0

— — 21

### DV継手・DV-VU継手の接合方法



#### 管の切断

切断箇所は正しく寸法を出し、油性ペン等で管軸に直角に切断線を記入し塩ビ用ノコギリや電動丸ノコを用いて切断します。

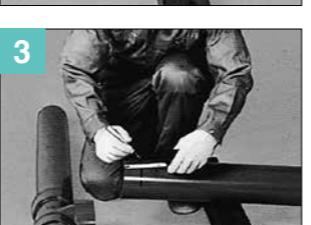
▲注意 管が変形したものやすり傷のついたものは切り除いてください。



#### 管差口の面取り

管差口は、やすりなどを用いて内外面全周にわたり糸面取りをおこないます。特に管を切断した場合は、バリやカエリのないよう管端面もきれいに仕上げることを心がけてください。

▲注意 面が取れていないと、接続時受口部の接着剤を削りとってしまい、抜けの原因となるので、必ず糸面取りをしてください。



#### 挿入標線の記入

差口の管端から受口長さの位置に挿入標線を記入してください。

呼び径	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200
ℓ	18	18									

# 接着接合の注意点

接着接合では、①接着剤の適量塗布、②十分な乾燥をした後に、③通水加圧し、④初期のたまり水は飲料に供しないことにご注意いただくことでより安全な配管布設ができます。

## ●接着剤の塗布量

(参考)1箇所あたり																				
呼び径	13	16	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200	250	300	350	400	450	500	600
塗布量(g)	0.7	1.0	1.5	2.0	2.5	3.5	5.0	6.5	10	15	20	30	55	90	125	175	220	275	350	500

**▲注意** ●異種の接着剤同士、または古い接着剤と新しい接着剤を混合しないでください。接着効果が低下し、抜けの原因となります。  
●水・土などの混入したものの、接着剤特有の刺激臭のないもの、ゼリー状になったものは使用しないでください。  
●材料発注は現物に於けるロス及び季節による増減を考慮して3割程度余分に見込んでください。

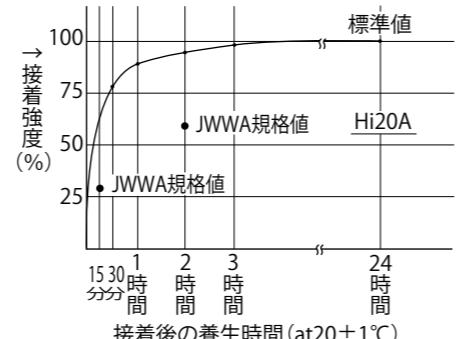
## ●乾燥

**▲警告** 配管直後から、仕切弁・空気弁・端部を開口し、接着剤溶剤蒸気を配管から排除しやすいようにしてください。溶剤蒸気を排除し接着剤を乾燥させることで、高い接着強度の発現、使用時(通水時)の溶剤臭気発生の防止、ソルベントクラックによる管の破損防止に効果があります。上記項目に加え、以下の項目を実施いただくとより効果的です。

**▲注意** ●5℃以下になる季節や地方では、送風機で管内の溶剤蒸気を除去してください。送風機はより低圧大容量のものが望ましく、少なくとも4~5時間以上運転すると効果的です。  
●やむを得ず通水による溶剤除去を行う場合は、呼び径50以下では接着30分後、呼び径65以上では1時間以上経過した後に無圧で通水を行ってください。  
●管継手を数ヶ所接着接合したユニットを、両端部開口して乾燥させた後に、ユニット同士を接着接合することで乾燥が促進されます。

## ●エスロン接着剤の養生時間と接着強度について

**▲注意** 右のグラフは、例としてHIゴールド+をNo.80Sで接着した場合の、接着後養生時間と接着強度発現の関係を示したもので、乾燥途中の状況を参考として示すもので保証する数値ではありません。管と継手の接着部の強度は、呼び径や接着剤の塗布量、温度、保持時間および挿入量によって変化します。



## ●SC(ソルベントクラック)対策について

**▲注意** SC (Solvent Cracking) とは、接着剤に含まれている有機溶剤が塩ビ管に作用して、クラック(微小な亀裂)を起こすことがあります(防腐剤等でも同じことが起こります)。特に低温時(冬季)や接着剤の過量塗布によって起こりやすい傾向がありますので、配管時には次のような対策をとってください。

対策項目	対策
標準接合での留意点	接着剤の適量使用 管種に適した専用接着剤を用い、薄く均一に塗布すること。
	接着剤の拭き取り 接着後にはみ出した接着剤はウエスで必ず拭き取ること。併せて、管設置時に接着剤が付着しないようにこぼれた接着剤も拭き取っておくこと。
管布設での注意点	乾燥 上記の「●乾燥」の注意点を参照ください。
	碎石基礎や杭、配管支持への注意 固いものが管に継続して接触し続けると、管に局部的に応力が発生し、SCの原因となります。埋設配管では碎石基礎や固定杭等での埋め戻しを避けたり、設備系の配管では固定方法に注意すること。

## ●通水試験時の注意

**▲注意** 通水試験時の加圧は、最終の接着接合が終了してから少なくとも24時間以上経過してから実施してください。(No.20S, No.20Sホワイトを除く)  
加圧は、必ず水圧で行い、エア抜きを確実に行った後に加圧してください。制水弁の操作による通水加圧の場合、制水弁を徐々に開き、急激な加圧は避けてください。管が破損する恐れがあります。

**▲警告** 空気圧で加圧を行った際に、万が一、管および継手が割れた場合には空気の膨張で激しく飛散して重大な怪我をする恐れがあります。

## ●接着剤の臭いについて

**▲注意** エスロン接着剤には有機溶剤が含まれています。施工において接着剤の塗布量が多いとき、また施工後から使用時の間での有機溶剤の乾燥が不十分な場合、通水した水が有機溶剤の臭いがする場合があります。初期のたまり水を捨てたり、通風等での乾燥を十分に行ったり、接着剤を適量塗布することで臭いの発生を抑えることができます。

# 滑剤によるゴム輪受口の接合手順

## 水道用ベルパイプLの場合

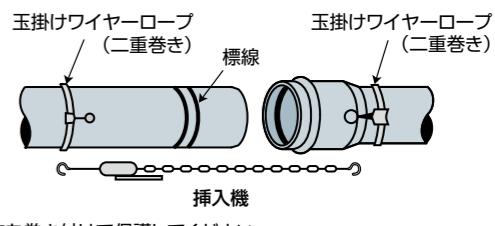
### 〈配管工具及び材料〉

- 塩ビ用ノコギリ
- エスロン面取機
- 玉掛けワイヤーロープ
- 挿入機  
能力 呼び径150~250 0.5トン×1台  
呼び径300 0.5トン×2台
- メジャーおよび油性ペン
- エスロン滑剤ベルソープおよびハケ
- ウエス
- すき間ゲージ

### 5 挿入機の取り付け

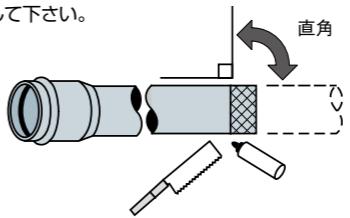
#### ●玉掛けワイヤーロープによる挿入

受口と差口の両側に玉掛けワイヤーロープを1本づつ掛け、挿入機を取付けます。ハンマーでのたたき込みや、建設機械での挿入は行わないでください。



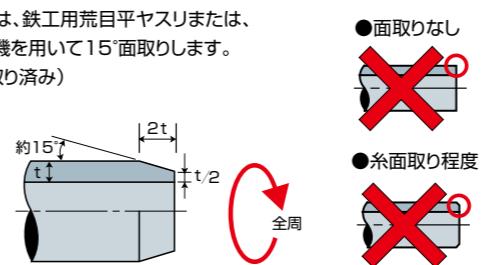
### 1 管の切断

切断箇所に油性ペンで管軸に直角に標線を記入し、塗ビ用ノコギリで直角に切断して下さい。



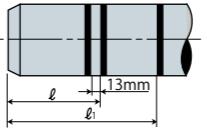
### 2 差口の面取り

切断した管端は、鉄工用荒目平やすりまたは、エスロン面取機を用いて15°面取りします。(定尺管は面取り済み)



### 3 挿入長さの記入

(管切断の場合)  
接続時の管挿入長さの目安とするため、差口側に挿入長さを記入します。(定尺管は記入済み)



呼び径	40	50	75	100	125	150	200	250	300
ペルパイプ-L HIペルパイプ・ゴールド+(プラス)	l 100	107	120	132	138	152	175	194	214
HIペルパイプロング・ゴールド+(プラス)	l -	156	166	179	-	201	222	-	-
	l1 -	231	241	254	-	276	297	-	-

※他の管につきましては、各管材の施工ハンドブック等をご参照ください。  
※l1はロング用ベルグトップを設置する位置となります。

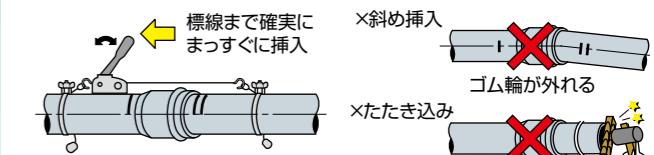
### 4 管の清浄処理

受口内面と差口管外間に付着している土や砂はウエスで拭き取ります。ゴム輪を外した場合は、ゴム輪の正しい装着方法を参考してください。



### 7 管の挿入

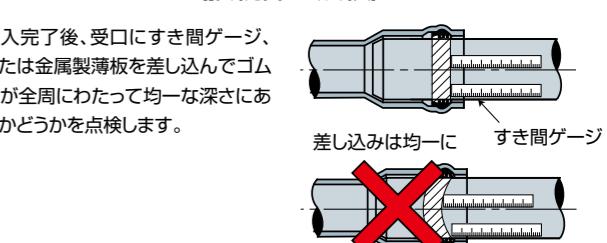
挿入線を上にして受口と差口の管軸を合わせて挿入します。挿入荷重が異常に大きいときは、挿入機を外してゴム輪を再点検してください。2本の標線の間まで差し込んでください。



#### ■ゴム輪接合 挿入力(参考値) VPペル-L

呼び径	40	50	75	100	125	150	200	250	300
挿入力	40	40	50	70	120	200	310	380	530

#### 〈接続部の点検〉



# ドレンタイトによる接合手順

## 標準使用量(単位: g)

### 1) マンホール継手取付け部

呼び径	管種	円形管	卵形管
200		900	1000
250		1000	1200
300		1200	1400
350		1400	1600
400		1500	1800
450		1700	2000
500		1800	2200
600		2200	—

積算には口分を見込んで表の値の1.3倍としてください。

### 2) 鉄筋コンクリート管と塩ビ支管 (A90SHR) の場合

取付け管呼び径	100	125	150	200
本管呼び径				
200~300	650	800	950	1280
350~450	690	860	1040	1370
500~800	860	1080	1290	1680
900~1350	1050	1350	1650	2120
1500~2000	1280	1610	1950	2400

ドレンタイトだけで接合する量を表示しています。

### 3) 鉄筋コンクリート管と塩ビ支管 (S90SHR) の場合

取付け管呼び径	100	125	150	200
本管呼び径				
200~300	800	900	1000	1200
350~450	850	950	1050	1250
500~800	900	1000	1100	1300
900~1350	1000	1100	1200	1400
1500~2000	1100	1200	1300	1500

# エスロンBVによる接合手順

## 標準使用量(単位: g)

呼び径	100	125	150	200
使用量	100	100	100	100

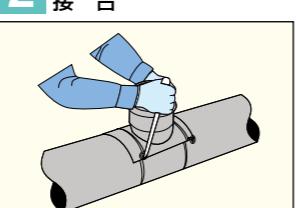
### エスロンBVの接合方法

#### 1 エスロンBVの塗布



支管接合面にエスロンBVを塗布する。

#### 2 接合



本管穿孔部に支管を圧着し、シノなどを使用して素早く焼なまし番線で締め付け圧着固定する。

# 製品安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	エスロン接着剤No.75S
供給者の会社名称、住所及び電話番号	積水化学工業株式会社 〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4 (オーラブレステージタワー) 環境・ライフインカンパニー 給排水インフラ事業部
FAX番号	03-6748-6492
緊急連絡電話番号	03-6748-6564
緊急連絡先	上記担当部門
推奨用途及び使用上の制限	硬質塩化ビニル管接合用接着剤 所定の用途以外には使用しないこと
整理番号	#75S

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的の危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分2
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	区分に該当しない
純性化爆発物	分類できない
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分4
急性毒性(吸入:ガス)	区分4
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重傷な損傷・眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器・全身毒性	区分1(呼吸器)、区分2(胃腸、中枢神経系)、区分3(麻醉作用、気道刺激性)、区分4(皮膚)
(単回ばく露)	
特定標的臓器・全身毒性	区分1(呼吸器、骨、消化管、神経系、中枢神経系)
(反復ばく露)	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性: 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性: 短期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

### 健康に対する有害性

特定標的臓器・全身毒性	区分1(呼吸器)、区分2(胃腸、中枢神経系)、区分3(麻醉作用、気道刺激性)、区分4(皮膚)
(単回ばく露)	
特定標的臓器・全身毒性	区分1(呼吸器、骨、消化管、神経系、中枢神経系)
(反復ばく露)	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性: 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性: 短期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

### 環境に対する有害性

給表示又はシンボル			
-----------	--	--	--

### 注意喚起語 危険有害性情報

危険	H302+H312+H332 飲み込んだり、皮膚に接触したり、吸入すると有害
H225	引火性の高い液体及び蒸気
H315	皮膚刺激
H319	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眼気又はめまいのおそれ
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H370	呼吸器系の障害
H371	腎臓、中枢神経系の障害のおそれ
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、骨、消化管、神経系、中枢神経系の障害
△使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)	
△すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)	
△熱、火花、裸火、高温のものによる着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)	
△容器を密閉しておくこと。(P233)	
△容器を接地すること。アースをとること。(P240)	
△防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)	
△火花を発生させない工具を使用すること。(P242)	
△静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)	
△粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)	
△粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)	
△取扱い後はよく手と眼を洗うこと。(P264)	
△この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)	
△屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)	
△汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)	

## 応急措置

◇保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)  
 ◇皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
 ◇皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)  
 ◇吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸、やれ、姿勢で休息すること。(P304+P340)  
 ◇眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容室内に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P338)  
 ◇ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)  
 ◇気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)  
 ◇気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。(P314)  
 ◇特別な処置が必要である。(P321)  
 ◇口をすすぐこと。(P330)  
 ◇皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。(P332+P313)  
 ◇皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。(P333+P313)  
 ◇眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。(P337+P313)  
 ◇汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。(P362+P364)  
 ◇火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)  
 ◇容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)  
 ◇換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235)  
 ◇施錠して保管すること。(P405)  
 ◇内容器、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務委託すること。(P501)

## 保管

◇容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)

## 廃棄

◇内容器、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務委託すること。(P501)

## 4. 応急措置

吸入した場合  
 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 必要に応じて医師の診断、手当を受けること。

# 製品安全データシート (SDS)

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	吸入・接触のおそれがあるときは適切な保護具を使用する。 火気厳禁。
局所排気・全体換気	局所排気のみ、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
安全取扱い注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付けてはならない。 蒸気、ミスト、スプレーを吸入してはならない。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保管	保管条件
	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。 冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。 施錠して貯蔵すること。

## 8.ばく露防止及び保護措置

設備対策	蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行なうことが望ましい。
	シクロヘキサン メチルエチルケトン アセトン

管理濃度	20ppm	200ppm	500ppm	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	日本産衛学会(2005年版) ACGIH(2005年版)TLV-TWA	25ppm	200ppm	500ppm
	20ppm	200ppm	500ppm	

保護具	
呼吸器の保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	不透性保護手袋
眼の保護具	有機溶剤対応型ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業着
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9.物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	特有の刺激臭
融点/凝固点	-20°C以下
沸点又は初留点及び沸騰範囲	56.5°C(沸点)
可燃性	あり
爆発下限及び爆発上限/可燃限界	データ無し
引火点	-17°C(密閉式)
自然発火点	420°C
分解温度	データ無し
pH	該当せず
動粘性率	約170(mm <sup>2</sup> /s)/20°C
溶解度	水に不溶
n-オクタノール/水分配系数(log <sub>10</sub> )	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	約0.90(20°C)
相対ガス密度	該当せず
粒子特性	データ無し
不揮発分:	約15%
粘度:	約150mPa·s

## 10.安定性及び反応性

反応性	現在のところ知見なし。
化学的安定性	通常の取扱では安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤と激しく反応して発火する。
避けるべき条件	酸化剤
混触危険物質	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

## 11.有害性情報

### 急性毒性 (別表)

	含有量	急性毒性(経口)	急性毒性(経皮)	急性毒性(吸入:ガス)	急性毒性(吸入:蒸気)	急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)
シクロヘキサン	38%	区分4 (1544mg/kg)	区分3 (947mg/kg)	区分に該当しない (2450ppm)	区分3 (8000ppm)	
メチルエチルケトン	29%	区分に該当しない (>2000mg/kg)	区分に該当しない (>5000mg/kg)	区分に該当しない (11700ppm)	区分4 (32000ppm)	分類できない
アセトン	19%	区分に該当しない (>5000mg/kg)	区分に該当しない (>7400mg/kg)	区分に該当しない (32000ppm)	区分に該当しない (32000ppm)	分類できない
塩ビ酢ビ共重合樹脂	15%	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

▲警告 危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので取り扱いには充分注意してください。

※エスロンNo.75S以外の製品安全データシートについては最寄りの営業所までお問い合わせください。

# 製品安全データシート (SDS)

## 15.適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2) (シクロヘキサン、メチルエチルケトン、アセトン、すず化合物)
消防法	名称等を表示すべき有害物(施行令第18条) (シクロヘキサン、メチルエチルケトン、アセトン)
化学物質管理促進法(PRT法)	第2種有機溶剤等(有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) (シクロヘキサン、メチルエチルケトン、アセトン)
毒物及び劇物取締法	がん原性物質(労働安全衛生規則第34条の2の4) (該当せず)
海洋汚染防止法	皮膚等障害化学物質(法第22条関連) (シクロヘキサン、メチルエチルケトン)

## 16.その他の情報

### 引用文献

- 1) 化学物質等安全データシート (MSDS) - 第1部: 内容及び項目の順序
- 2) 製品安全データシートの作成指針(改訂版)、社団法人日本化学会
- 3) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 4) 化学物質の危険・有害性便覧 中央労働災害防止協会
- 5) GHSに基づく化学品の危険・有害性情報の伝達方法ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS Z 7253:2019

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成いたしておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする等の場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

## 日本水道協会の接着剤適合基準について

### 水道用硬質ポリ塩化ビニル管の接着剤 [JWWA S 101-2019] の規格概要

#### 1 適用範囲

この規格は、水道用硬質ポリ塩化ビニル管(以下管という)および水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手(以下継手という)の接合に使用する塩化ビニル樹脂溶液形接着剤及びアクリル樹脂溶液形接着剤(以下接着剤という)について規定する。

1. 管 : JIS K 6742 (水道用硬質ポリ塩化ビニル管 VP、HIVP)
2. 継手 : JIS K 6743 (水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 TS、HITS)

#### 2 種類

接着剤は速乾性とし、粘度によって表-1の2種類に区分し、次の記号を用いる。

##### 表-1

種類	記号
低粘度	A
高粘度	B

注: VP用と HIVP用がある。

#### 3 材料および製造方法

3.1 接着剤は塩化ビニル重合体または、アクリル重合体を主原料とし、メチルエチルケトンなどの溶剤で溶解して製造する。

#### 3.2 組成

接着剤の組成は次のものから選択する。

- a) 樹脂 : 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂
- b) 溶剤 : アセトン、テトラヒドロフラン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、シクロヘキサン
- c) 顔料 : 着色剤、酸化チタン、アンスラキノン系誘導体

#### 4 品質

接着力、乾燥減量および粘度は、所定の試験を行い、表-2に適合しなければならない。

##### 表-2

項目	品質規定
接着力 (MPa)	接合後15分を経過したもの 1.25以上
	接合後2時間で経過したもの 2.50以上
乾燥減量 (%)	30~50
粘度 (mPa·s)	低粘度 100~800 高粘度 500~3000
	有機物[全有機炭素(TOC)の量](mg/L) 水道施設の技術基準を定める省令の別表第二の基準による。
味	
臭気	
色度(度)	
濁度(度)	
残留塩素の減量(mg/L)	0.7以下

#### 5 表示

接着剤の容器への表示は、容器ごとに種類および記号・正味質量・製造業者名および製造年月または、その略号・使用上の注意事項を容易に消えない方法で表示する。

##### 表-3 容器又はラベルの色

種類	低粘度	高粘度
色	青系	赤系